

2017-2018 年度 国際ロータリー・テーマ
会長 イアン H.S. ライズリー

2017-2018 年度 士別ロータリー・スローガン
伝えたい、心の息吹を隣人に



ロータリー
変化をもたらす



士別市環境センター（リサイクルセンター）

- R I HP <https://www.rotary.org/ja>
- 2500 地区 HP <http://www.abashiri-rc.jp/2017/>
- 士別 RC HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

- 会長／北村 浩史
- 副会長／近井 孝義
- 幹事／谷村 一文
- 事務所／士別グランドホテル（東3条6丁目）
TEL 0165-23-1234

第 2705 回例会 2018 年 3 月 5 日（月）
今日のプログラム：・普通例会・理事会

● 前回（2月26）の記録／・夜間例会

司 会 千葉道夫 会場監督
 齊 唱 それでこそロータリー
 本日の出席 会員 48 人中 出席者 48 名 出席率 100% 修正 %
 本日の欠席

ゲ ス ト

メイクアップ

ニコニコ BOX

累計 182,000 円

● 例会予定

◆ 3月例会（識字率向上月間）

- 3月 5日（月） 普通例会・理事会
- 3月 12日（月） 普通例会
- 3月 19日（月） 特別休会（24日士別 RC 創立記念日）
- 3月 26日（月） 夜間例会

◆ 4月例会（ロータリー雑誌月間）

- 4月 2日（月） 普通例会・理事会
- 4月 9日（月） 普通例会
- 4月 16日（月） 普通例会
- 4月 23日（月） 夜間例会
- 4月 30日（月） 法定休日（昭和の日 振替休日）

■会務報告・・・・・・・・・・北村浩史 会長

■先日、ロータリークラブを代表して牧野市長と市民の集いに出席してまいりました。ほかにロータリー会員の姿もチラホラとお見受けし、そのうちお2人が壇上で挨拶に立っておりました。その集いですが、実はこの種の会に出席するのは初めてでした。まずはその参集人数の多いことにびっくりしました。かつてはロビーにまでテーブルを置いていたそうです。これは参会者に失礼ではということで、今は会場に入れる範囲内でのチケットの販売数にしているそうです。お次は普段の会合ではお見かけすることのない顔ぶれも多く、多士済々が集まってくる。政治家の集いとはこういうものなのかなあと、今さらながらですが感心したところです。そして何より市長を始め、壇上に立ったみなさんが人口減や少子化による士別の危機を乗り越えるために「市民や各種団体などの連携の必要性」を訴えたことです。わたしもまったくもってこれには賛同します。「社会的手抜き」という言葉をご存知でしょうか。「大勢の人間が一緒にいると、他の人の結果にゆだねやすく、他の誰かがやってくれるだろうという心理が働く」。要するに誰かがやってくれるから、ここは様子見だという感じですが、自分もずいぶんと社会的手抜きを行なってきました。そんな社会的手抜きに浸っていると悩んだり苦しんだりせずに済みます。できれば面倒は避けたいなあと、今でも時々、思うことがあります。組織にはこの社会的手抜きがつきものなのでしょうが、士別市でもこの手抜きが今以上に蔓延していけば、やはり連携はますます難しくなっていくような気がします。そんな自分が、「この社会的手抜きをどうするか大きな課題のような気がする」などと言うと笑われそうです。ですがこれほどまでに連携が叫ばれるのは、やはり士別のまちづくりに対して、このままでは衰退して行くのではとの危機感の表れなのかもしれません。「どうしたらひとりひとりが社会的手抜きを排して、前向きにまちづくりと向かい合えるのか」。市長と市民の集いに参加して、そんな感想を抱いてまいりました。

■幹事報告・・・・・・・・・・谷村一文 幹事

1. 3月のロータリーレートは1 \$ 1 0 8円となっています。
2. 士別国際交流協会より当クラブ宛に「士別市男女共同参画セミナー」及び「留学報告会」の開催についてご案内が届いております。回覧ファイルに入れておきますのでご覧下さい。
3. 本日の夜間例会終了後、新入会員お二人の歓迎会を行ないます。目的地への移動のバスを用意しますので速やかにご移動願います。
4. 訃報のお知らせです。当クラブの元会員菅原清人様がお亡くなりになったのでご報告させていただきます。

■国際奉仕委員会・・・・・・・・・・谷 温恵 委員長 ※前号のつづき

①PETS で私が参加した第5文科会は、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕と4つの委員会に向けて36才からロータリークラブに入会したという小野哲パストガバナー（紋別港 RC）が、ロータリー

の奉仕について基本的な話をされました。その中で、ロータリーの国際奉仕はポリオ撲滅等を行っていることをはじめ、シェルドンの奉仕理念から、戦争を起こしてはならない、向かってはならない、ロータリーは心の部分、心で対応しよう、協調性を持って仲よくなろうと強くおっしゃっていました。また、ロータリーのできることは小さいが、世界の現状を知ることが大切であり、それがロータリーと話され、世界を学ぶことが国際奉仕であることを教えていただきました。そして、2度目の国際奉仕委員長就任であるという黒川吉一（音更 RC）委員長が国際奉仕の目的は、ロータリアンの間、又、一般の人々との間に理解と善意を育むことが任務とのことで、国際理解・親善・平和の推進をするために実施できること全てから成り、その方法は世界の人々・文化・慣習を知ること、また、旅行や国際大会出席による個人交流、さらに他国の人々の役に立つクラブの行動やプロジェクトに協力することについて話され、特に今回は7月1日から責務が変わったことを強調し、グローバル補助金の利用をすすめていました。2500地区では15程行ったと聞きました。黒川委員長自身も3年がかりでグローバルプロジェクトをタイで行い、全身麻酔の機械を入れたと誇らし気に話していましたが、使うまでにはものすごく難しい補助金であるともおっしゃっていました。さらに、帯広南RCの方も参加し、実際にインドネシアのスンバ島という靴も履かない貧しいところに井戸を作り、子どもたちが病気で死なないように貢献したこと、トラックいっぱい書籍を持って教育支援を行ったこと、国技であるバトミントン用具の寄贈等について大変熱く報告され、その様子から、実際の奉仕活動の先には大きな喜びがあるのだということ学び帰ってきました。

②次は古い話となりますが、平成9年に北海道私立幼稚園協会海外研修に参加した経験がありますので、アメリカ合衆国の教育についてお伝えします。東はニューヨークよりボストン、西はロスアンゼルス、サンフランシスコに行ってきました。日本では、文部科学省による幼稚園教育要領や学習指導要領に基づいて学校教育が行われていますが、アメリカの教育はそれぞれの州及び地方当局に責任と権限が与えられているとのことで、免許もまちまち、指導することもできる学年もまちまちであり、プログラム等もそうであることが驚きでありました。飛び級でもわかるようにアメリカの学校教育は能力別にクラスが分けられることで知られていますが、子どもたちの可能性を引き出すことが使命であり、これによりクラス内に授業についていけず静かにしているお客様のような生徒がいなくなり、それぞれのクラスでしっかりと学ぶスタイルが印象的でありました。また、義務教育は幼稚園の5歳児年長組からであり、それ以前はプレスクールとされ、幼稚園は小学校と一体化というのでしょうか、併設されていました。ら、う試練があったことも今の私の糧になっています。（次号につづく）